

平成 26 年度 第8次大和市総合計画に関する 市民意識調査集計結果(概要)

1. 調査の実施概要	・・・	2
2. 回答者の属性	・・・	5
3. 調査結果		
(1) 大和市への愛着度について	・・・	8
(2) 大和市への定住志向について	・・・	8
(3) 個別目標の重要度・満足度について	・・・	9
(4) 成果を計る指標について	・・・	12
(5) 市が重視すべき取り組みについて	・・・	19
(6) まちづくりへの自由意見・要望	・・・	28

1. 調査の実施概要

(1) 目的

本市では、「第8次大和市総合計画」に基づき、「健康創造都市 やまと」の実現に向けたまちづくりを進めています。このうち、前期の計画期間は平成25年度をもって終了したことから、その進捗を確認することや、今後の取り組みの参考とすることを目的に本調査を実施しました。

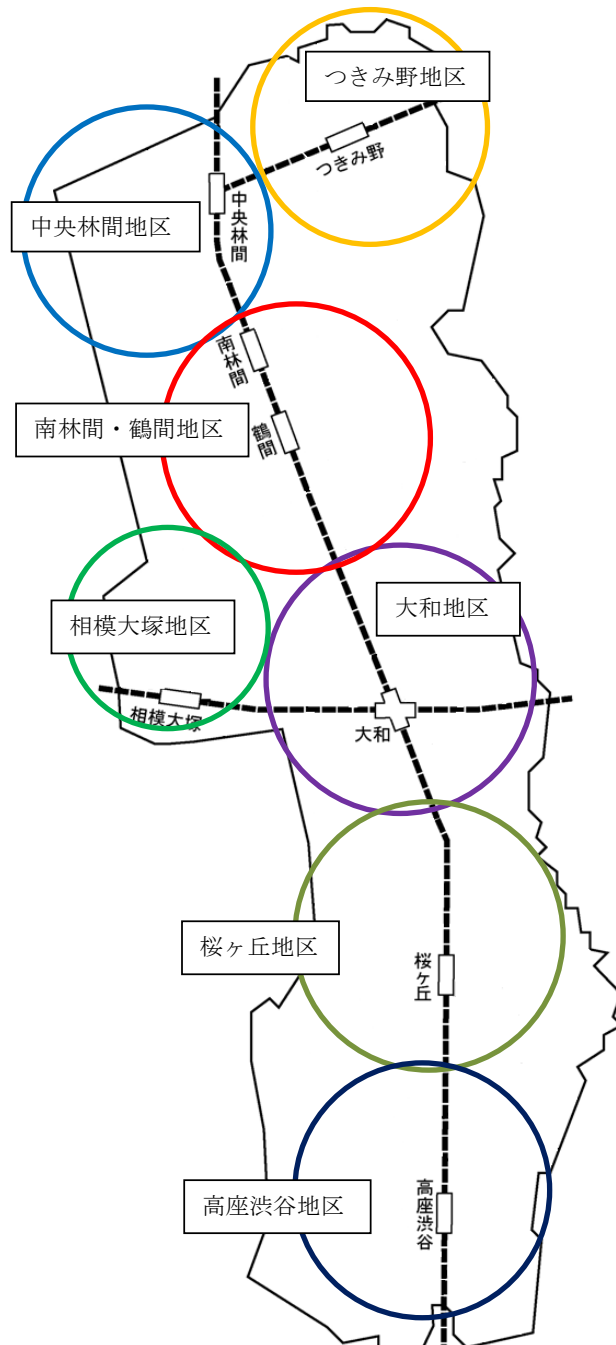
(2) 調査項目

- ① 大和市への愛着度について (P. 8)
- ② 大和市への定住意向について (P. 8)
- ③ 個別目標の重要度・満足度について (P. 9～P. 11)
- ④ 成果を計る指標について (P. 12～P. 18)
- ⑤ 市が重視すべき取り組みについて (P. 19～P. 27)
- ⑥ まちづくりへの自由意見・要望 (P. 28～P. 31)

(3) 調査の方法

- ① 調査対象
大和市内在住の16歳以上の市民5,000人
- ② 抽出方法
大和市住民基本台帳に基づく無作為抽出法
※市内7地域の人口比に基づき抽出。
- ③ 調査票の配布及び回収方法
郵送配布、郵送回収
- ④ 調査期間
平成26年5月27日（火）～平成26年6月9日（月）
- ⑤ 回収数
2,334通（有効回収率 46.7%）

(4) 地区割り



つきみ野地区	下鶴間(1~1439、1945、2046~2244、5011~5287番地) つきみ野1~8丁目
中央林間地区	下鶴間(1448~1645、4374~4457番地)、 中央林間1~6丁目、中央林間西1~7丁目
南林間・鶴間地区	上草柳5~9丁目、下鶴間1~2丁目、下鶴間(1733~1943、 1946~2044、2245~3070番地)、鶴間1~2丁目、 西鶴間1~8丁目、深見西5~8丁目、南林間1~9丁目、 林間1~2丁目
相模大塚地区	上草柳(1~1931番地)、桜森1~3丁目
大和地区	上草柳1~4丁目、下草柳、草柳1~3丁目、中央1~7丁目、 深見、深見台1~4丁目、深見西1~4丁目、深見東1~3丁目、 横溝1・4丁目、大和東1~3丁目、大和南1~2丁目
桜ヶ丘地区	上和田(1~2743番地)、代官1~4丁目、福田1~8丁目、 福田(2254~2620、4147~5697番地)、柳橋2・3・5丁目
高座渋谷地区	上和田(2744~3523番地)、渋谷1~6丁目、下和田、 福田(1~2263・3264~4146・6000~6215番地)

(5) 回収率

【男女別回収率】

性別	発送数	回収数	回収率
男性	2,546	966	37.9%
女性	2,454	1,236	50.4%
無回答	—	132	—
合計	5,000	2,334	46.7%

【年代別回収率】

年代	発送数	回収数	回収率
10 歳代	144	43	29.9%
20 歳代	704	192	27.3%
30 歳代	910	358	39.3%
40 歳代	976	363	37.2%
50 歳代	711	311	43.7%
60 歳代	755	431	57.1%
70 歳以上	800	509	63.6%
無回答	—	127	—
合計	5,000	2,334	46.7%

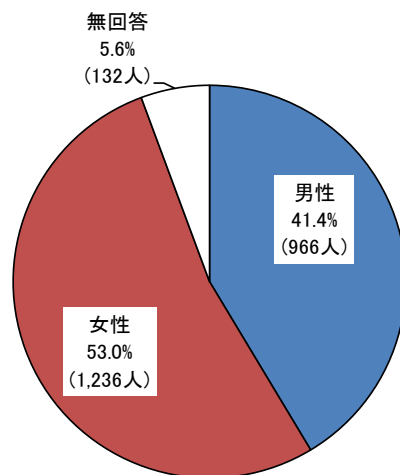
【地域別回収率】

地域	発送数	回収数	回収率
つきみ野 地区	427	210	49.2%
中央林間 地区	580	279	48.1%
南林間・鶴間 地区	1528	693	45.4%
相模大塚 地区	167	64	38.3%
大和 地区	1005	450	44.8%
桜ヶ丘 地区	789	356	45.1%
高座渋谷 地区	504	240	47.6%
無回答	—	42	—
合計	5,000	2,334	46.7%

※ 人口比に応じて、年齢別及び地域別に発送

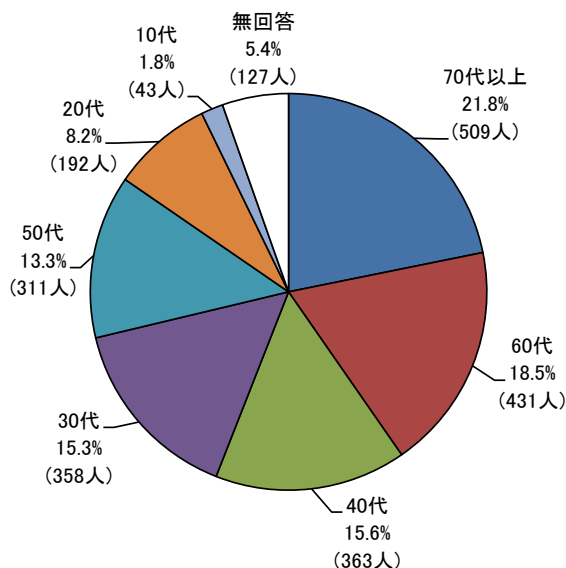
2. 回答者の属性

(1) 性別



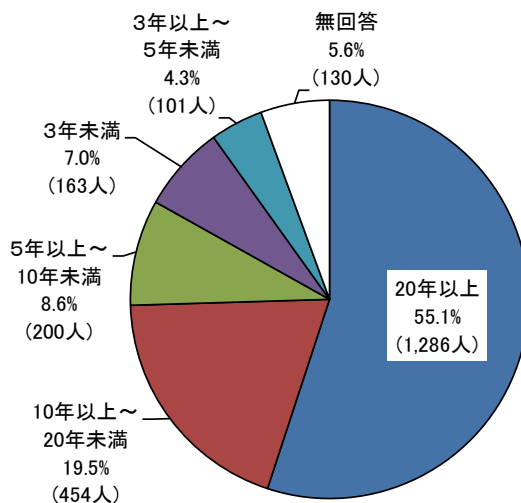
女性回答者が 53.0% (1,236 人)、男性回答者が 41.4% (966 人) となり、回答者の割合は女性が多くなっています。

(2) 年齢



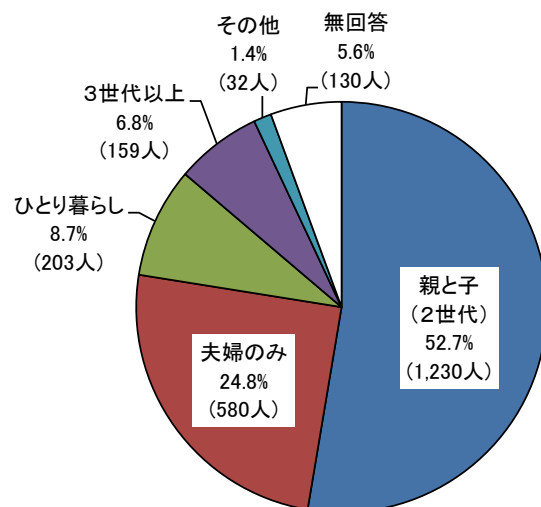
70代が最も多く、21.8% (509 人) となり、次いで多い順に 60代 18.5% (431 人)、40代 15.6% (363 人)、30代 15.3% (358 人)、50代 13.3% (311 人)、20代 8.2% (192 人)、10代 1.8% (43 人) となっています。

(3) 居住年数



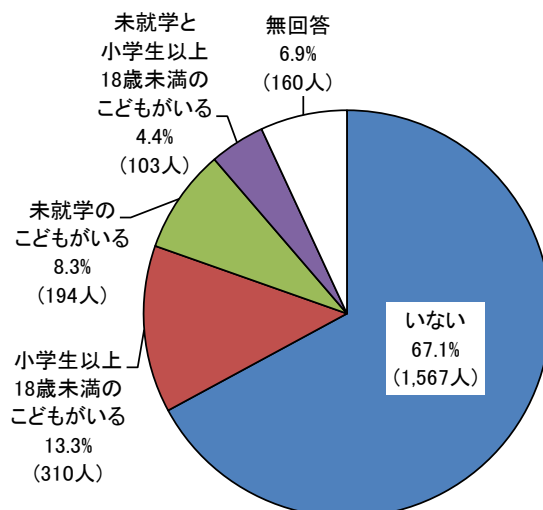
20年以上が最も多く、55.1% (1,286 人) となり、次いで多い順に 10年以上～20年未満 19.5% (454 人)、5年以上～10年未満 8.6% (200 人)、3年未満 7.0% (163 人)、3年以上～5年未満 4.3% (101 人) となっています。

(4) 家族構成



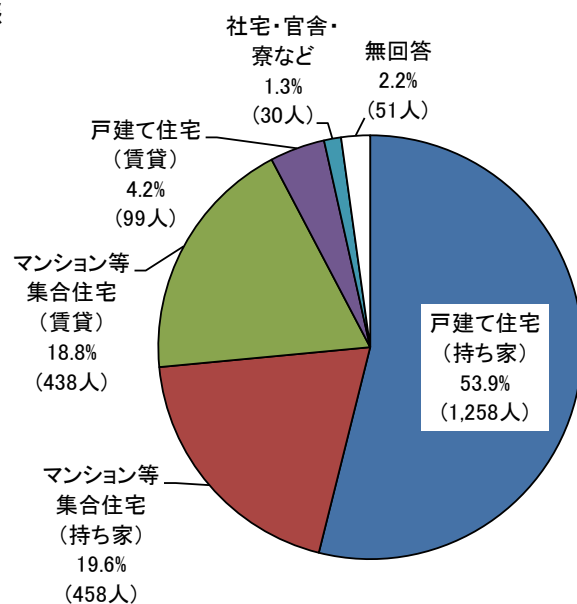
親と子 (2 世代) が最も多く、52.7% (1, 230 人) となり、次いで多い順に夫婦のみ 24.8% (580 人)、ひとり暮らし 8.7% (203 人)、3 世代以上 6.8% (159 人) となっています。

(5) こどもの有無



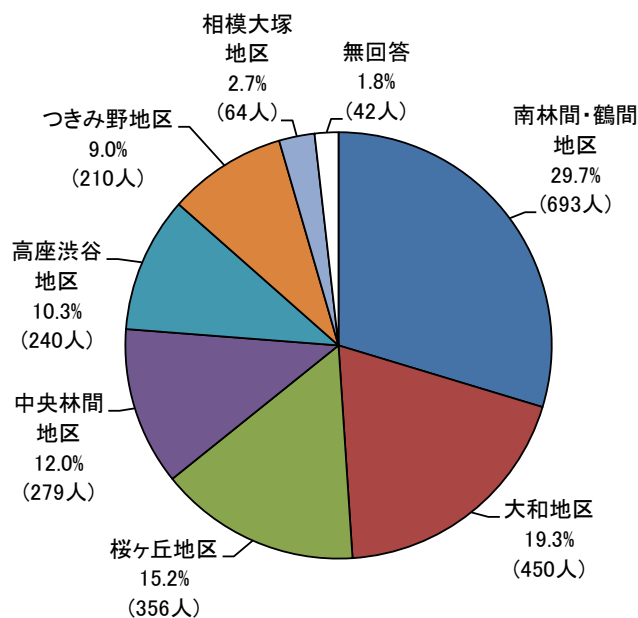
こどもがいないと回答した人が最も多く、67.1% (1, 567 人) となり、次いで多い順に小学生以上 18 歳未満のこどもがいる 13.3% (310 人)、未就学のこどもがいる 8.3% (194 人)、未就学と小学生以上 18 歳未満のこどもがいる 4.4% (103 人) となっています。

(6) 居住形態



戸建て住宅 (持家) が最も多く、53.9% (1,258 人) となり、次いで多い順にマンション等集合住宅 (持家) 19.6% (458 人)、マンション等集合住宅 (賃貸) 18.8% (438 人)、戸建て住宅 (賃貸) 4.2% (99 人)、社宅・官舎・寮など 1.3% (30 人) となっています。

(7) 居住地域

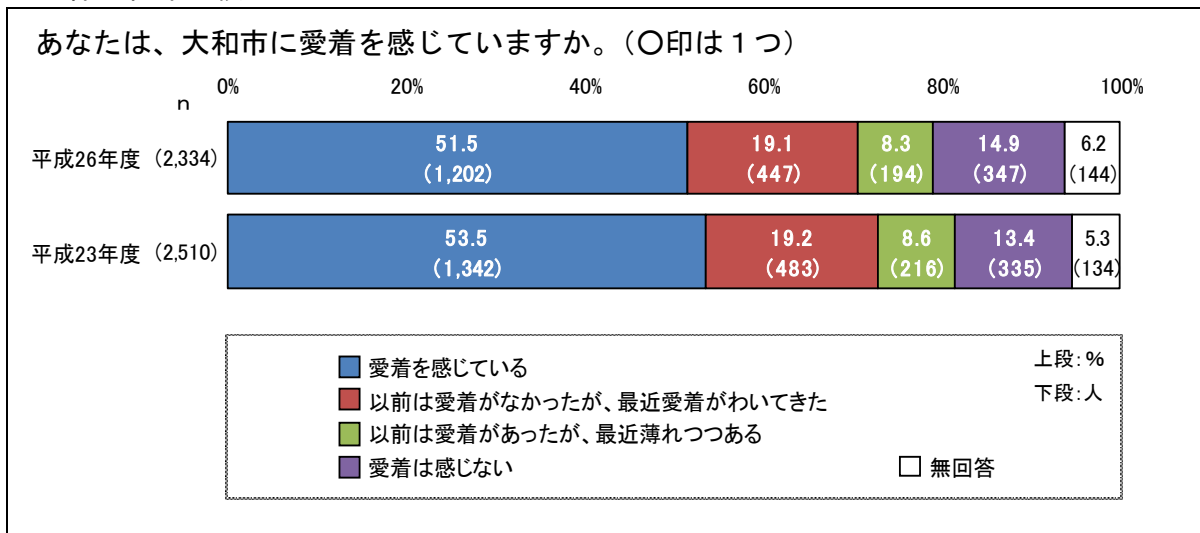


南林間・鶴間地区が最も多く、29.7% (693 人) となり、次いで多い順に大和地区 19.3% (450 人)、桜ヶ丘地区 15.2% (356 人)、中央林間地区 12.0% (279 人)、高座渋谷地区 10.3% (240 人)、つきみ野地区 9.0% (210 人)、相模大塚地区 2.7% (64 人) となっています。

3. 調査結果

(1) 大和市への愛着度について

◆全体・経年比較



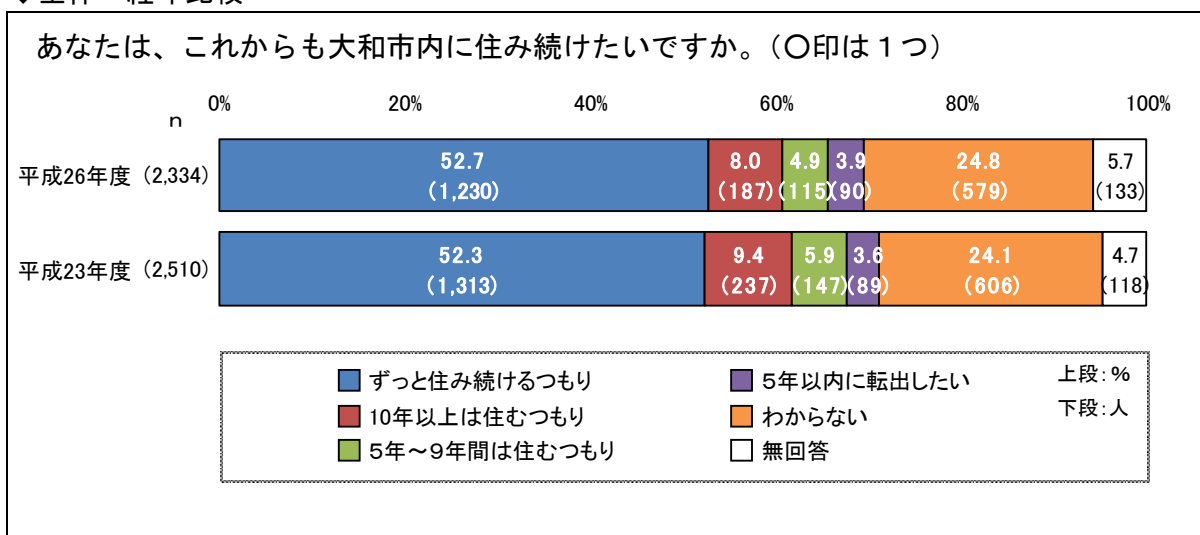
『愛着を感じる(「愛着を感じている」と「以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた」の合計)』は70.6%で、平成23年調査結果(72.7%)と比較して2.1ポイント減少しています。

※属性別の回答の特徴

・居住年数別でみると、20年以上居住している人は62.0%が「愛着を感じている」と回答しています。

(2) 大和市への定住意向について

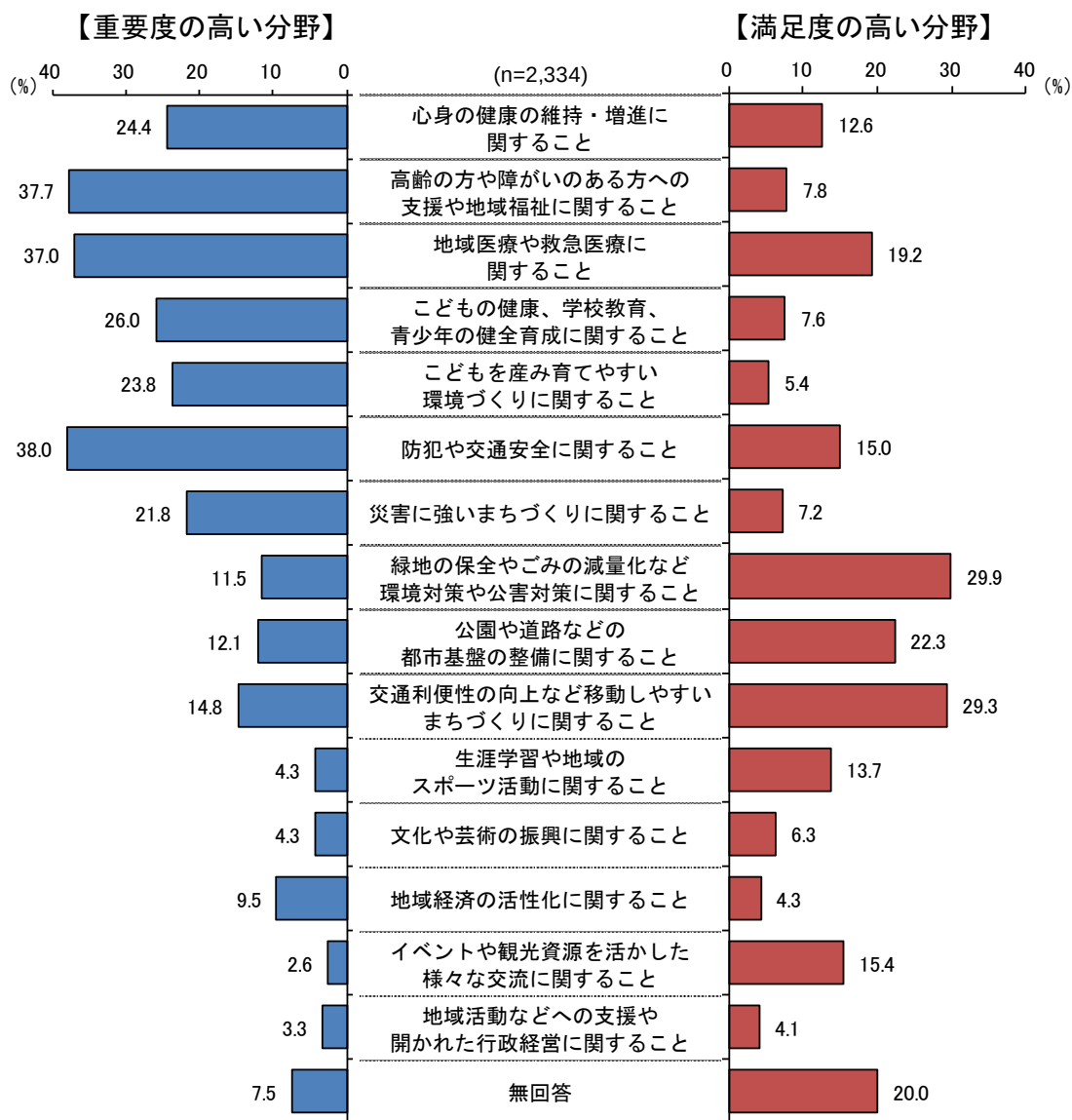
◆全体・経年比較



「ずっと住み続けるつもり」は52.7%で、平成23年結果(52.3%)と比較して0.4ポイント増加しています。

(3) 個別目標の重要度・満足度について

①次に掲げるまちづくりの分野の中で、重要度の高い分野と満足度の高い分野をそれぞれ3つまで選んでください。



※複数回答であるため、回答の比率(%)をすべて合計すると100%を超える。

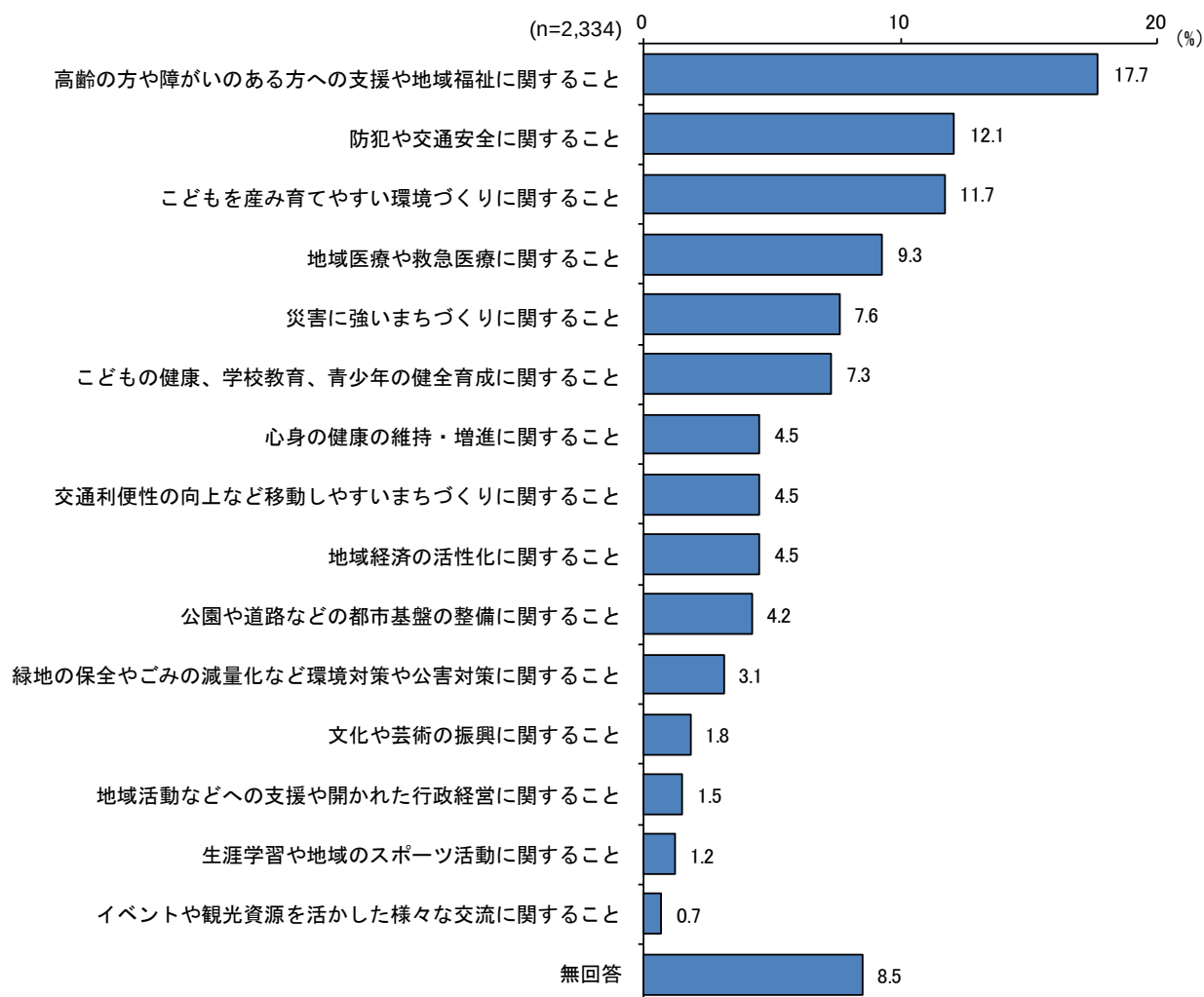
表の左側が、重要度の高い分野に関する回答率となっています。

多い順に「防犯や交通安全に関すること」(38.0%)、「高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること」(37.7%)、「地域医療や救急医療に関すること」(37.0%)となり、いずれも4割近くとなっています。次いで、「こどもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること」(26.0%)、「心身の健康の維持・増進に関すること」(24.4%)となりました。

表の右側が、満足度の高い分野に関する回答率となっています。

多い順に「緑地の保全やごみの減量化など環境対策や公害対策に関すること」(29.9%)、「交通利便性の向上など移動しやすいまちづくりに関すること」(29.3%)となり、いずれも3割近くとなっています。次いで、「公園や道路などの都市基盤の整備に関すること」(22.3%)、「地域医療や救急医療に関すること」(19.2%)となりました。

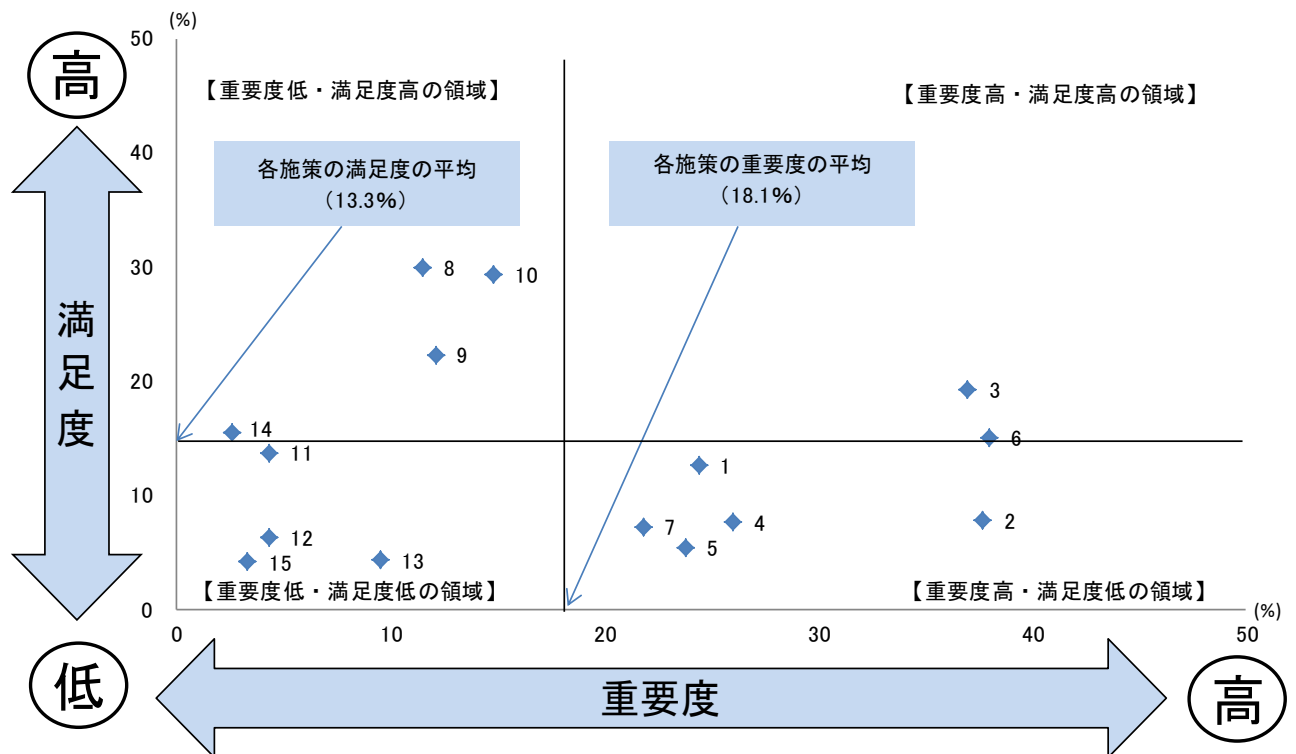
②重要度の高い分野のうち、最も重点的に進めて欲しいものを1つ選んでください。



最も重点的に進めて欲しいと思う分野について、「高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること」(17.7%) が最も多く、次いで、「防犯や交通安全に関すること」(12.1%)、「こどもを産み育てやすい環境づくりに関すること」(11.7%)、「地域医療や救急医療に関すること」(9.3%) などの順となっています。

◆クロス分析

次のグラフは、①満足度と②重要度の関係性を座標により示したものです。重要度と満足度の平均値を中間線で区分し、各施策に対する回答状況を4つの領域に分けて表示しています。

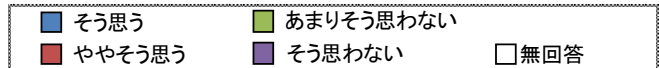


- 1 心身の健康の維持・増進に関すること
- 2 高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること
- 3 地域医療や救急医療に関すること
- 4 こどもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること
- 5 こどもを産み育てやすい環境づくりに関すること
- 6 防犯や交通安全に関すること
- 7 災害に強いまちづくりに関すること
- 8 緑地の保全やごみの減量化など環境対策や公害対策に関すること
- 9 公園や道路などの都市基盤の整備に関すること
- 10 交通利便性の向上など移動しやすいまちづくりに関すること
- 11 生涯学習や地域のスポーツ活動に関すること
- 12 文化や芸術の振興に関すること
- 13 地域経済の活性化に関すること
- 14 イベントや観光資源を活かした様々な交流に関すること
- 15 地域活動などへの支援や開かれた行政経営に関すること

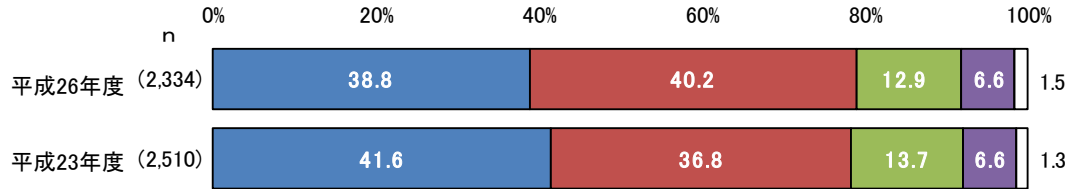
(4) 成果を計る指標について (網掛けは、総合計画書に搭載している成果を計る主な指標です。)

次にあげる項目についてどう思いますか。

◆全体・経年比較



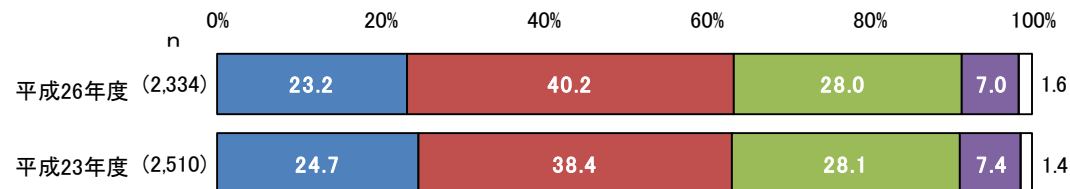
①あなたは、健康であると思う



「そう思う」と「ややそう思う」の合計(以下、『そう思う』という)は 79.0%で、前回結果(78.4%)と比較して+0.6 ポイントとなりました。

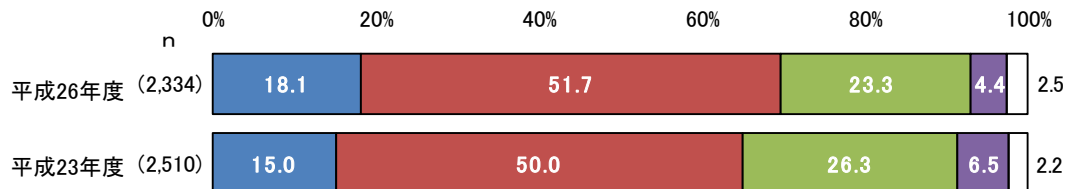
②あなたは、自ら健康づくりに取り組んでいると思う

(めざす成果 1-1-1 「市民一人ひとりが健康づくりに取り組んでいる」)



『そう思う』は 63.4%で、前回結果(63.1%)と比較して+0.3 ポイントとなりました。

③大和市は、安心して医療が受けられる体制が整っていると思う



『そう思う』は 69.8%で、前回結果(65.0%)と比較して+4.8 ポイントとなりました。

※属性別の回答の特徴

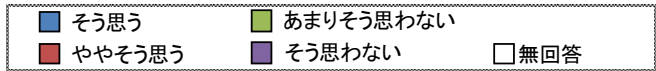
- ・年齢別でみると、30 歳代で+12.0 ポイント、60 歳代で+8.9 ポイントとなっています。
- ・子どもの有無別でみると、未就学児と 18 歳未満の子どもがいる世帯で+13.9 ポイントとなっています。

④あなたの地域では、介護を必要とする人が安心して暮らしていると思う

(めざす成果 1-3-2 「必要な介護サービスの支援が受けられる」)



『そう思う』は 46.8%で、前回結果(47.3%)と比較して▲0.5 ポイントとなりました。



⑤あなたの地域では、高齢の方が生き生きと活動していると思う

(めざす成果 1-3-1 「高齢者が生き生きと暮らしている」)



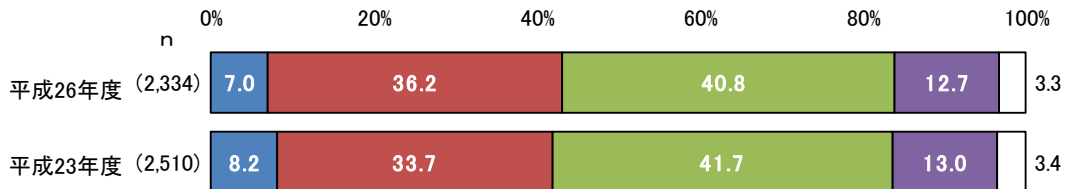
『そう思う』は 56.6%で、前回結果(54.6%)と比較して+2.0 ポイントとなりました。

※属性別の回答の特徴

- ・年齢別でみると、40 歳代で+8.3 ポイント、60 歳代で+4.6 ポイントとなっています。
- ・家族構成別でみると、親と子 2 世代の世帯で+4.2 ポイントとなっています。

⑥あなたの地域では、支えあう人のつながりがあると思う

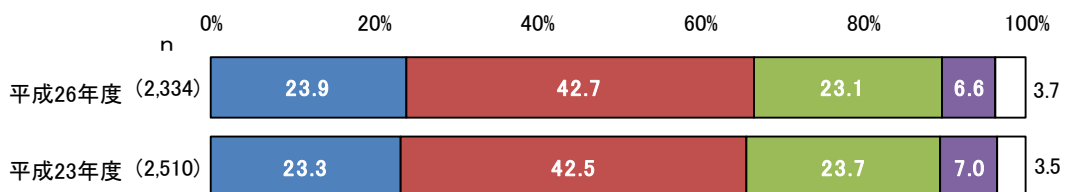
(めざす成果 1-4-1 「お互いに助け合う地域の関係ができていく」)



『そう思う』は 43.2%で、前回結果(41.9%)と比較して+1.3 ポイントとなりました。

⑦あなたの地域では、差別意識がないと思う

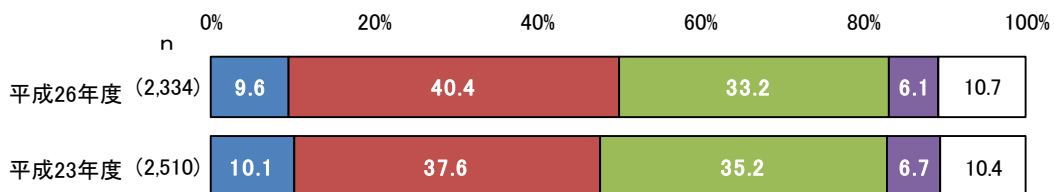
(めざす成果 7-1-1 「あらゆる差別がなくすべての人が互いの人権を尊重し合っている」)



『そう思う』は 66.6%で、前回結果(65.8%)と比較して+0.8 ポイントとなりました。

⑧大和市では、子育てに関する不安を相談できる場があると思う

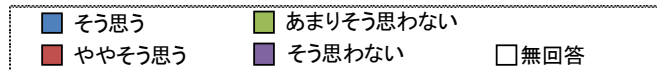
(めざす成果 2-3-1 「安心して子育てをしている」)



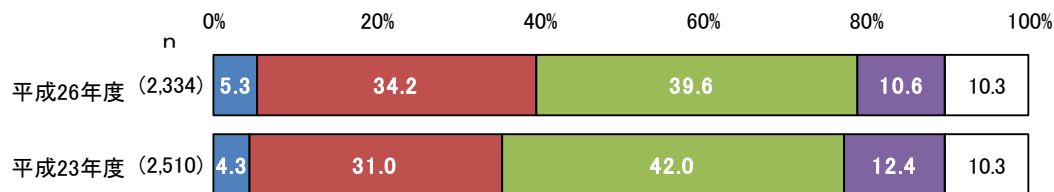
『そう思う』は 50.0%で、前回結果(47.7%)と比較して+2.3 ポイントとなりました。

※属性別の回答の特徴

- ・年齢別でみると、30 歳代で+6.3 ポイント、40 歳代で+5.1 ポイントとなっています。
- ・子どもの有無別でみると、未就学児と小学生以上 18 歳未満の子がいる世帯で+17.4 ポイントとなっています。



⑨大和市では、経済的に不安なく子育てができていると思う



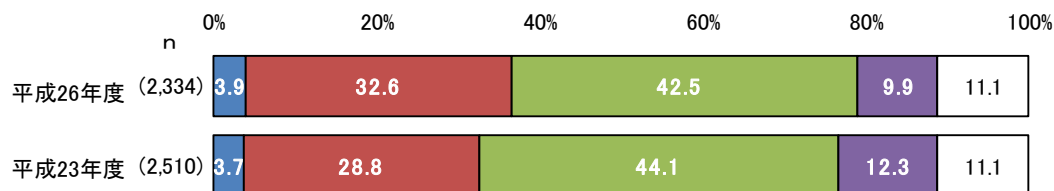
『そう思う』は 39.5% で、前回結果 (35.3%) と比較して +4.2 ポイント となりました。

※属性別の回答の特徴

- ・年齢別でみると、30 歳代で +5.9 ポイント、40 歳代で +6.6 ポイント、60 歳代で +10.0 ポイントとなっています。
- ・家族構成別でみると、親と子 2 世代の世帯で +10.1 ポイントとなっています。

⑩大和市では、こどもの個性や能力にあった教育が行われていると思う

(めざす成果 2-2-3 「子どもが個性・能力にあった教育を受けている」)



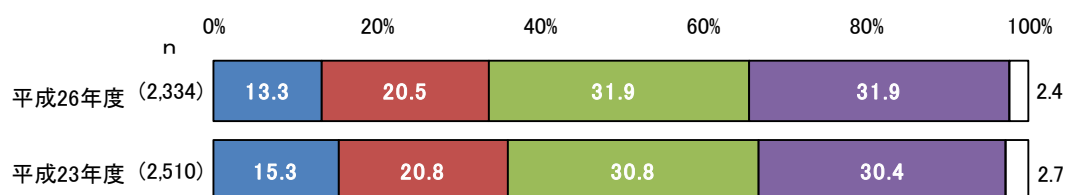
『そう思う』は 36.5% で、前回結果 (32.5%) と比較して +4.0 ポイント となりました。

※属性別の回答の特徴

- ・年齢別でみると、10 歳代で +17.2 ポイント、40 歳代で +8.0 ポイントとなっています。
- ・家族構成別でみると、親と子 2 世代の世帯で +5.0 ポイント、3 世代以上の世帯で +11.8 ポイントとなっています。

⑪あなたは、日常的にスポーツを楽しんでいると思う

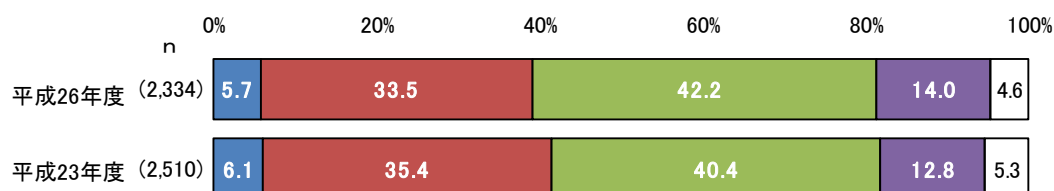
(めざす成果 6-2-1 「スポーツを楽しむ人が増えている」)



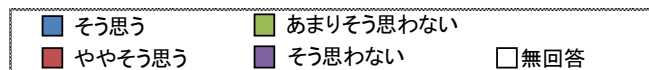
『そう思う』は 33.8% で、前回結果 (36.1%) と比較して ▲2.3 ポイント となりました。

⑫大和の歴史や文化は、しっかり継承されていると思う

(めざす成果 6-3-2 「郷土の文化がしっかり引き継がれている」)

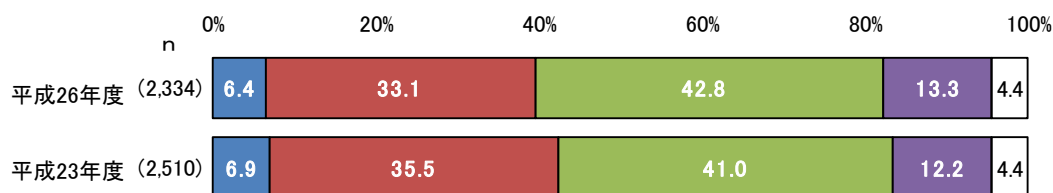


『そう思う』は 39.2% で、前回結果 (41.5%) と比較して ▲2.3 ポイント となりました。



⑬大和市では、文化や芸術活動が盛んに行われていると思う

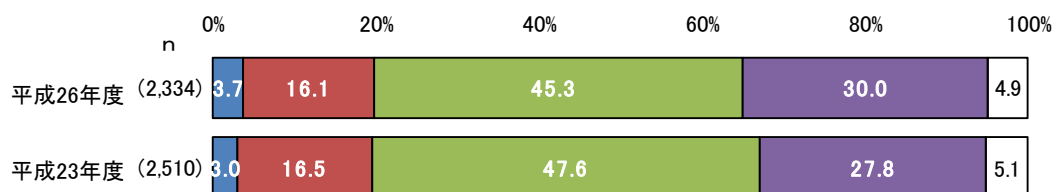
(めざす成果 6-3-1 「多様な文化や芸術を楽しむ人が増えている」)



『そう思う』は 39.5%で、前回結果(42.4%)と比較して▲2.9 ポイントとなりました。

⑭あなたの周りでは、国際交流が行われていると思う

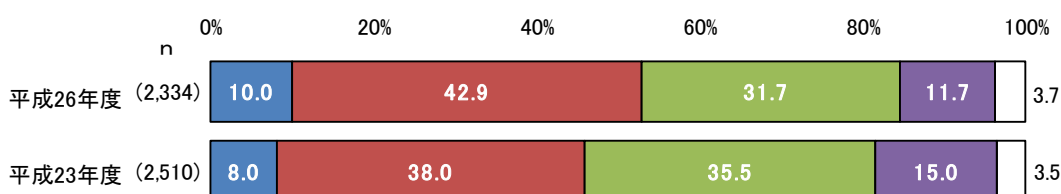
(めざす成果 7-1-3 「地域の中で多文化共生が行われている」)



『そう思う』は 19.8%で、前回結果(19.5%)と比較して+0.3 ポイントとなりました。

⑮以前に比べて、大和市の治安は良くなったと思う

(めざす成果 3-2-1 「犯罪の不安を感じることなく暮らしている」)



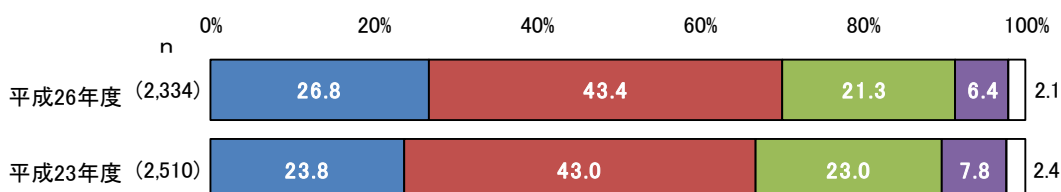
『そう思う』は 52.9%で、前回結果(46.0%)と比較して+6.9 ポイントとなりました。

※属性別の回答の特徴

- ・年齢別でみると、50 歳代で+10.8 ポイント、70 歳代で+11.8 ポイントとなっています。
- ・居住年数別でみると、5 年以上 10 年未満で+7.5 ポイント、20 年以上で+8.8 ポイントとなっています。
- ・居住地域別でみると、中央林間地区で+8.1 ポイント、大和地区で+8.9 ポイント、桜ヶ丘地区で+11.7 ポイントとなっています。

⑯あなたの地域では、広域避難場所が知られていると思う

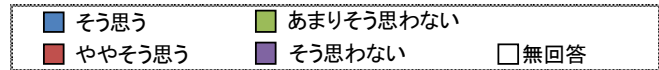
(めざす成果 3-1-2 「防災・減災のためのしくみが整っている」)



『そう思う』は 70.2%で、前回結果(66.8%)と比較して+3.4 ポイントとなりました。

※属性別の回答の特徴

- ・居住地域別でみると、大和地区で+6.4 ポイント、高座渋谷地区で+8.0 ポイントとなっています。



⑰以前に比べて、航空機による騒音が減ったと思う



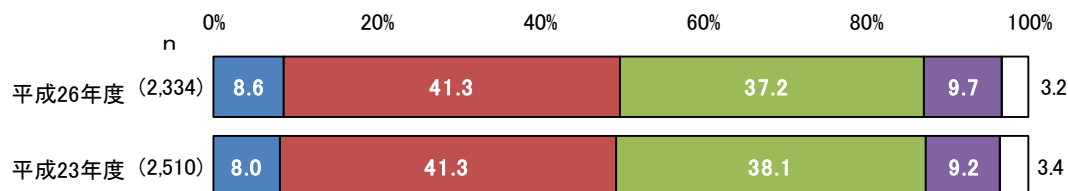
『そう思う』は 19.9%で、前回結果(34.7%)と比較して▲14.8 ポイントとなりました。

※属性別の回答の特徴

- ・年齢別にみても全体的に低下しており、特に 50 歳代が▲20.6 ポイントと最も低下しています。
- ・居住年数別にみても全体的に低下しています。10 年以上 20 年未満で▲18.1 ポイントと最も低下しています。
- ・また、居住地域別でも全体的に低下しており、桜ヶ丘地区で▲23.8 ポイントと最も低下しています。
- ・本調査の時期に、米軍機の離発着が増加したため、結果に影響が生じていると考えられます

⑱あなたのまわりでは、環境に配慮している人が多いと思う

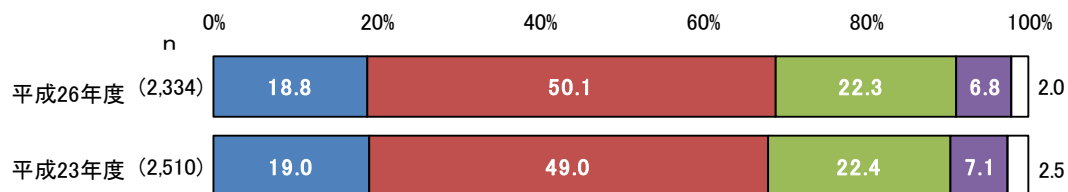
(めざす成果 4-1-1 「二酸化炭素の排出量が削減されている」)



『そう思う』は 49.9%で、前回結果(49.3%)と比較して+0.6 ポイントとなりました。

⑲大和市には、緑や公園が多いと思う

(めざす成果 4-3-1 「緑地が保全され、まちの中の緑化が進んでいる」)



『そう思う』は 68.9%で、前回結果(68.0%)と比較して+0.9 ポイントとなりました。

⑳大和市は、良好な街並みが形成されていると思う

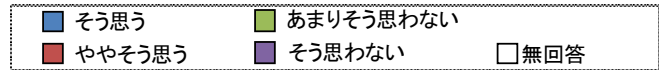
(めざす成果 5-1-2 「良好なまち並みが形成されている」)



『そう思う』は 48.8%で、前回結果(44.7%)と比較して+4.1 ポイントとなりました。

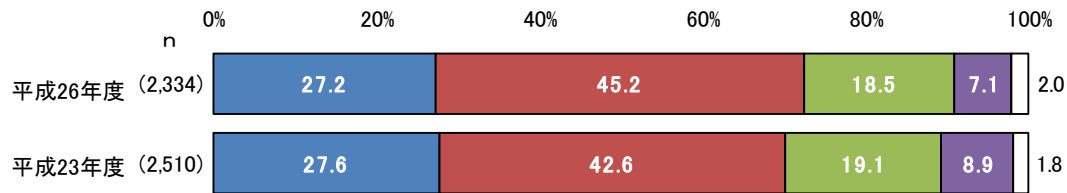
※属性別の回答の特徴

- ・居住年数別でみると、3 年以上 5 年未満で+8.8 ポイントとなっています。
- ・居住地域別でみると、桜ヶ丘地区で+7.3 ポイント、高座渋谷地区で+7.7 ポイントとなっています。



②①大和市は、買い物がしやすいと思う

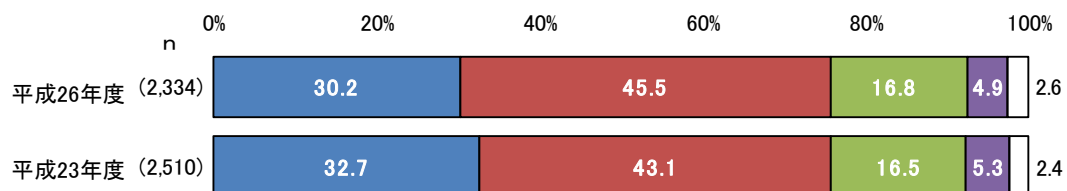
(めざす成果 7-2-1 「商店街や企業が活発に活動している」)



『そう思う』は 72.4%で、前回結果(70.2%)と比較して+2.2 ポイントとなりました。

②②大和市は、公共交通機関を手軽に利用できると思う

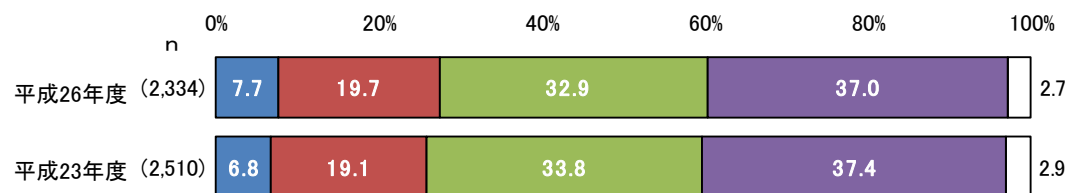
(めざす成果 5-2-1 「地域交通の利便性が向上している」)



『そう思う』は 75.7%で、前回結果(75.8%)と比較して▲0.1 ポイントとなりました。

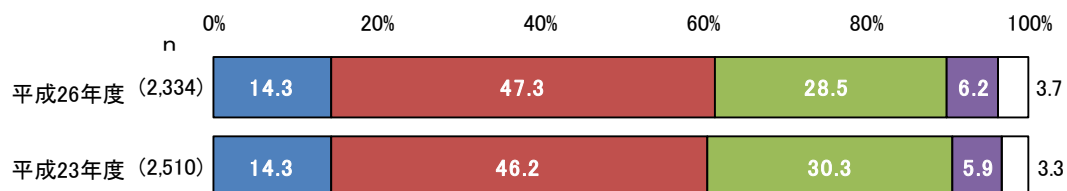
②③あなたは、地域活動に参加していると思う

(めざす成果 7-3-1 「地域の活動が活発に行われている」)

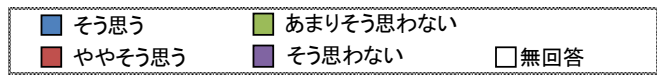


『そう思う』は 27.4%で、前回結果(25.9%)と比較して+1.5 ポイントとなりました。

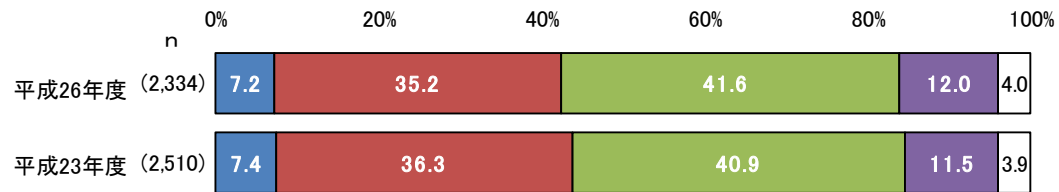
②④大和市では、市政情報（市が提供すべき情報）を手軽に入手できると思う



『そう思う』は 61.6%で、前回結果(60.5%)と比較して+1.1 ポイントとなりました。

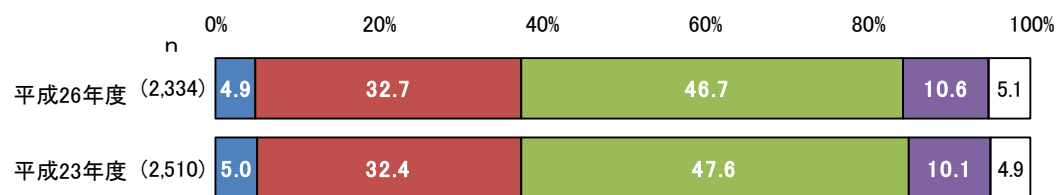


②⑤大和市役所は、市民の声が届く市役所であると思う



『そう思う』は 42.4%で、前回結果(43.7%)と比較して▲1.3 ポイントとなりました。

②⑥大和市では、市政への参加の機会が確保されていると思う

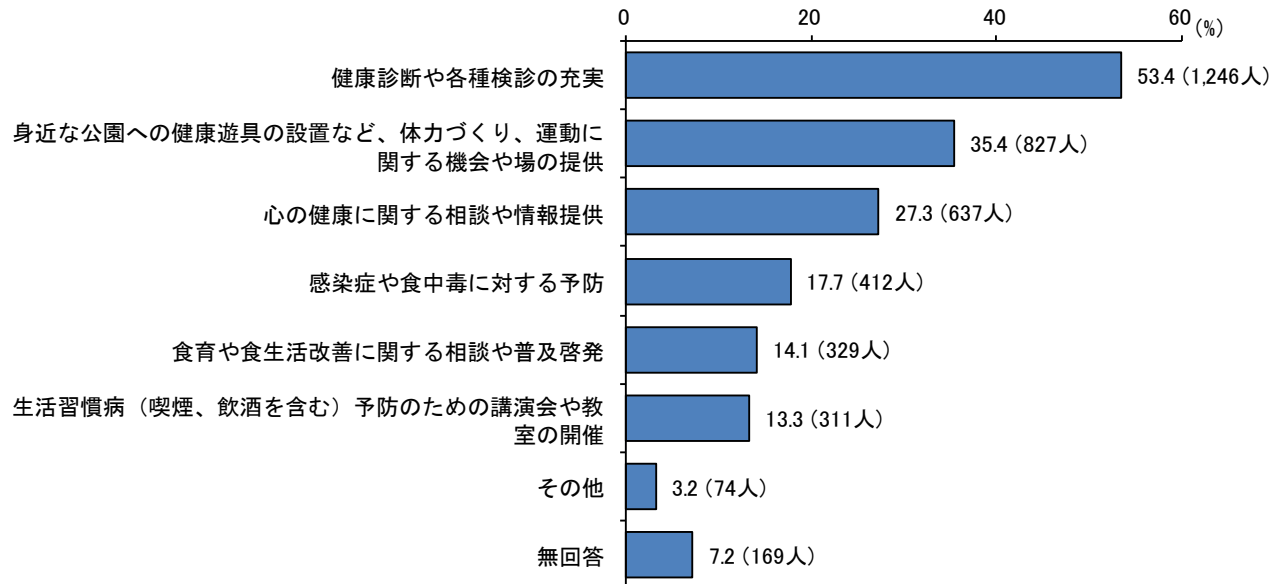


『そう思う』は 37.6%で、前回結果(37.4%)と比較して+0.2 ポイントとなりました。

(5) 市が重視すべき取り組みについて

- ① 心と身体の健康づくりに関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印は2つまで)

◆全体



「健康診断や各種検診の充実」(53.4%)が最も多くなり、次いで多い順に、「身近な公園への健康遊具の設置など、体力づくり、運動に関する機会や場の提供」(35.4%)、「心の健康に関する相談や情報提供」(27.3%)、「感染症や食中毒に対する予防」(17.7%)となっています。

◆経年比較

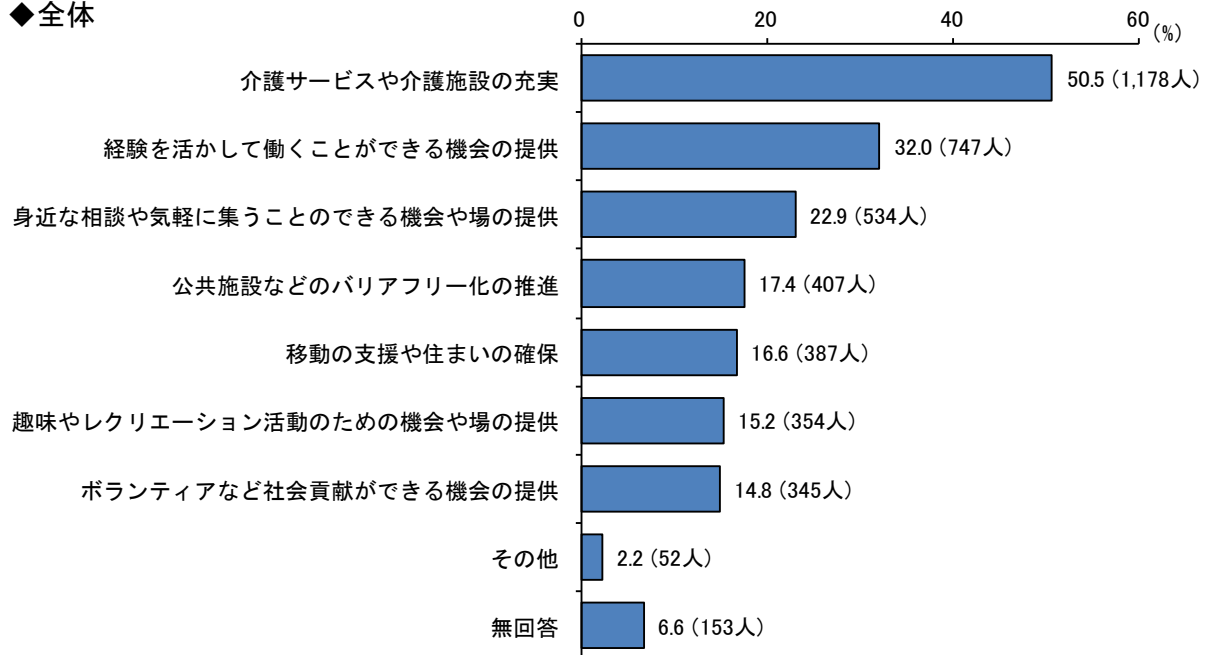
	(%)	
	平成26年度	平成23年度
調査数(n)	2,334	2,510
健康診断や各種検診の充実	53.4	58.9
身近な公園への健康遊具の設置など、体力づくり、運動に関する機会や場の提供	35.4	31.6
心の健康に関する相談や情報提供	27.3	31.6
感染症や食中毒に対する予防	17.7	17.0
食育や食生活改善に関する相談や普及啓発	14.1	17.5
生活習慣病(喫煙、飲酒を含む)予防のための講演会や教室の開催	13.3	12.0
その他	3.2	2.5
無回答	7.2	5.9

1位
2位

「健康診断や各種健診の充実」が5割以上で前回同様1位、「身近な公園への健康遊具の設置など、体力づくり、運動に関する機会や場の提供」が3割以上で前回同様2位、「心の健康に関する相談や情報提供」が今回3位（前回は同率2位）となっています。

② 高齢の方や障がいのある方に関する取り組みとして、
大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印は2つまで)

◆全体



「介護サービスや介護施設の充実」(50.5%)が最も多くなり、次いで多い順に、「経験を活かして働くことができる機会の提供」(32.0%)、「身近な相談や気軽に集うことのできる機会や場の提供」(22.9%)、「公共施設などのバリアフリー化の推進」(17.4%)となっています。

◆経年比較

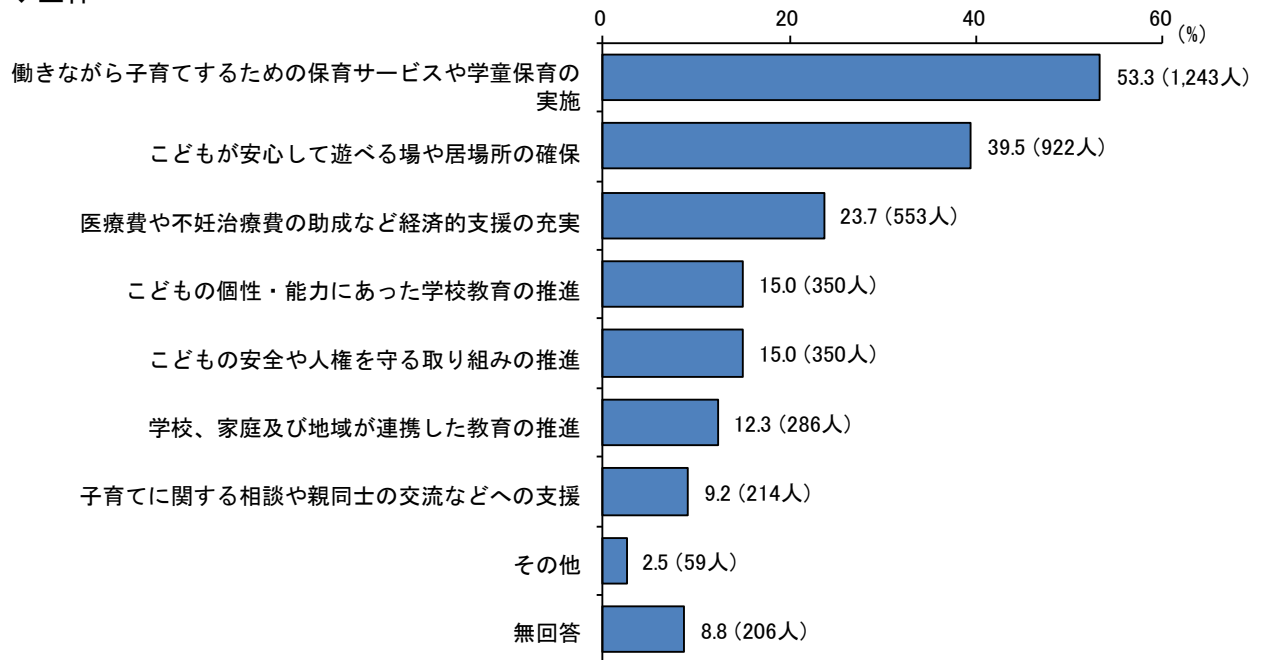
	(%)	
	平成26年度	平成23年度
調査数(n)	2,334	2,510
介護サービスや介護施設の充実	50.5	52.3
経験を活かして働くことができる機会の提供	32.0	33.5
身近な相談や気軽に集うことのできる機会や場の提供	22.9	22.3
公共施設などのバリアフリー化の推進	17.4	17.6
移動の支援や住まいの確保	16.6	19.6
趣味やレクリエーション活動のための機会や場の提供	15.2	15.9
ボランティアなど社会貢献ができる機会の提供	14.8	14.1
その他	2.2	1.5
無回答	6.6	5.4

1位 2位

前回同様に「介護サービスや介護施設の充実」が1位、「経験を活かして働くことができる機会の提供」が2位、「身近な相談や気軽に集うことのできる機会や場の提供」が3位となっています。

③ 子育てに関する取り組みとして、
大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印は2つまで)

◆全体



「働きながら子育てするための保育サービスや学童保育の実施」(53.3%)が最も多くなり、次いで多い順に、「こどもが安心して遊べる場や居場所の確保」(39.5%)、「医療費や不妊治療費の助成など経済的支援の充実」(23.7%)、「こどもの個性・能力にあった学校教育の推進」(15.0%)、「こどもの安全や人権を守る取り組みの推進」(15.0%)となっています。

◆経年比較

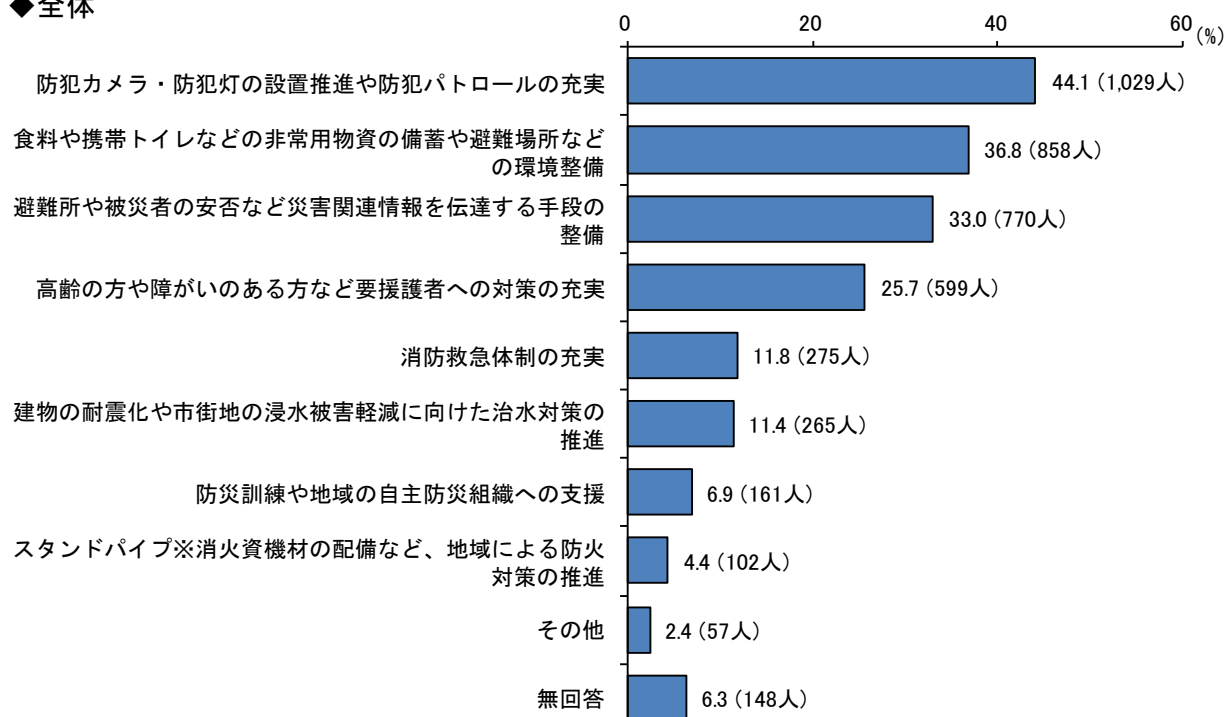
	(%)	
	平成26年度	平成23年度
調査数(n)	2,334	2,510
働きながら子育てするための保育サービスや学童保育の実施	53.3	48.7
こどもが安心して遊べる場や居場所の確保	39.5	36.9
医療費や不妊治療費の助成など経済的支援の充実	23.7	31.7
こどもの個性・能力にあった学校教育の推進	15.0	15.0
こどもの安全や人権を守る取り組みの推進	15.0	16.3
学校、家庭及び地域が連携した教育の推進	12.3	13.4
子育てに関する相談や親同士の交流などへの支援	9.2	9.6
その他	2.5	1.8
無回答	8.8	7.9

1位
2位

前回同様に「働きながら子育てするための保育サービスや学童保育の実施」が1位、「こどもが安心して遊べる場や居場所の確保」が2位、「医療費や不妊治療費の助成など経済的支援の充実」が3位となっています。また、「働きながら子育てするための保育サービスや学童保育の実施」は前回より4.6ポイント増えました。

④ 安全・安心に関する取り組みとして、
大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印は2つまで)

◆全体



「防犯カメラ・防犯灯の設置推進や防犯パトロールの充実」(44.1%)が最も多くなり、次いで多い順に、「食料や携帯トイレなどの非常用物資の備蓄や避難場所などの環境整備」(36.8%)、「避難所や被災者の安否など災害関連情報を伝達する手段の整備」(33.0%)、「高齢の方や障がいのある方など要援護者への対策の充実」(25.7%)となっています。

◆経年比較

	(%)	
	平成26年度	平成23年度
調査数(n)	2,334	2,510
防犯カメラ・防犯灯の設置推進や防犯パトロールの充実	44.1	—
食料や携帯トイレなどの非常用物資の備蓄や避難場所などの環境整備	36.8	—
(※食料や飲料水、毛布など非常用物資の備蓄)	—	38.2
(※避難場所や避難路などの整備)	—	22.2
避難所や被災者の安否など災害関連情報を伝達する手段の整備	33.0	44.9
高齢の方や障がいのある方など要援護者への対策の充実	25.7	27.9
消防救急体制の充実	11.8	9.4
建物の耐震化や市街地の浸水被害軽減に向けた治水対策の推進	11.4	18.2
防災訓練や地域の自主防災組織への支援	6.9	8.0
スタンドパイプ消火資機材の配備など、地域による防火対策の推進	4.4	—
その他	2.4	1.1
無回答	6.3	5.3

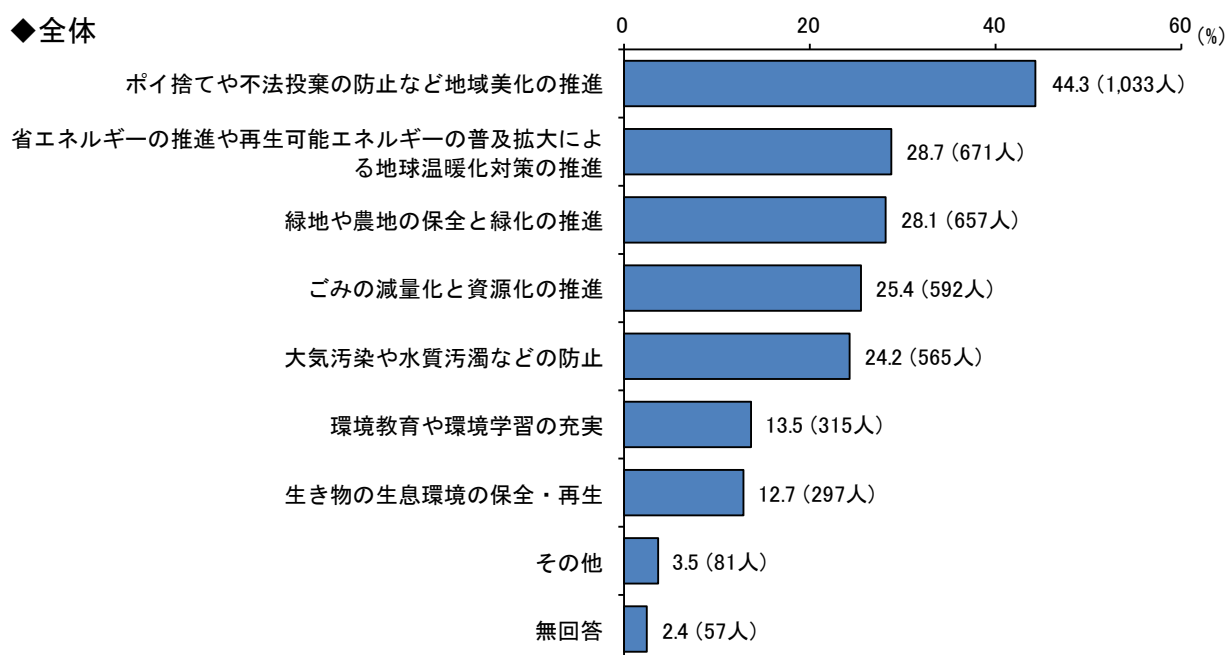
1位 2位

※平成23年度では質問項目を2つに分けていたが、平成26年度では質問項目を1つにまとめたもの。

今回新たに加わった項目「防犯カメラ・防犯灯の設置推進や防犯パトロールの充実」が1位となり、前回1位の「避難所や被災者の安否など災害関連情報を伝達する手段の整備」が3位となっています。「食料や携帯トイレなどの非常用物資の備蓄や避難場所などの環境整備」は、複数の前回調査項目をまとめたものですが、今回2位となりました。

- ⑤ 環境に関する取り組みとして、
大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（○印は2つまで）

◆全体



「ポイ捨てや不法投棄の防止など地域美化の推進」(44.3%)が最も多くなっています。次いで多い順に、「省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの普及拡大による地球温暖化対策の推進」(28.7%)、「緑地や農地の保全と緑化の推進」(28.1%)、「ごみの減量化と資源化の推進」(25.4%)、「大気汚染や水質汚濁などの防止」(24.2%)となりました。

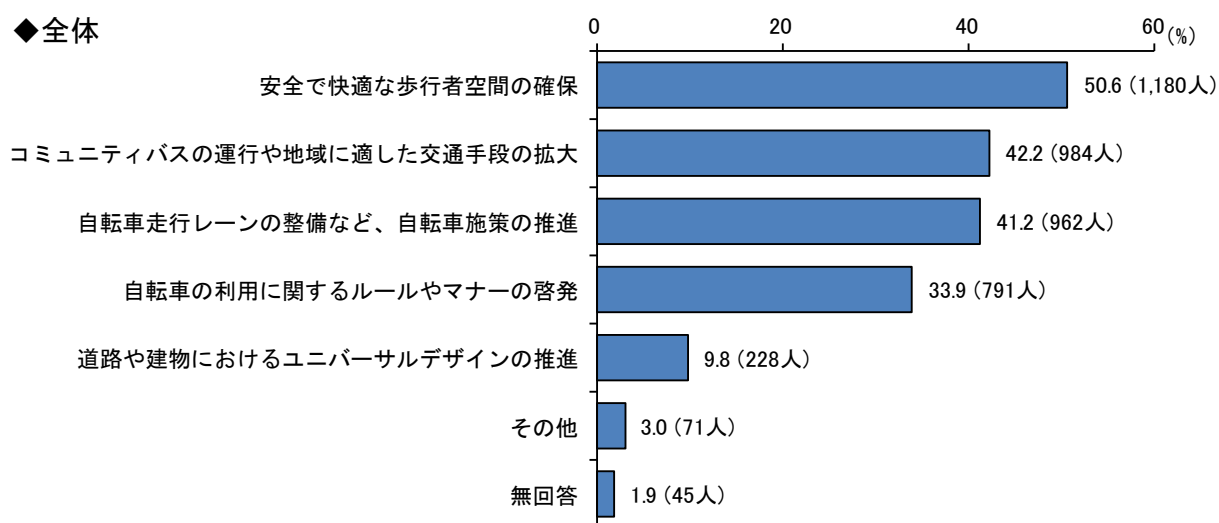
◆経年比較

	(%)	
	平成26年度	平成23年度
調査数(n)	2,334	2,510
ポイ捨てや不法投棄の防止など地域美化の推進	44.3	48.4
省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの普及拡大による地球温暖化対策の推進	28.7	18.5
緑地や農地の保全と緑化の推進	28.1	29.2
ごみの減量化と資源化の推進	25.4	32.1
大気汚染や水質汚濁などの防止	24.2	25.1
環境教育や環境学習の充実	13.5	14.7
生き物の生息環境の保全・再生	12.7	12.1
その他	3.5	3.0
無回答	2.4	2.2
	1位	2位

「ポイ捨てや不法投棄の防止など地域美化の推進」が前回同様に1位、「省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの普及拡大による地球温暖化対策の推進」が前回より10ポイント以上増加し、今回は2位となりました。「緑地や農地の保全と緑化の推進」は3位で、前回同様の順位となっています。

⑥ まちの快適さと利便性の向上に関する取り組みとして、
大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印は2つまで)

◆全体



「安全で快適な歩行者空間の確保」(50.6%)が最も多く、次いで多い順に、「コミュニティバスの運行や地域に適した交通手段の拡大」(42.2%)、「自転車走行レーンの整備など、自転車施策の推進」(41.2%)、「自転車の利用に関するルールやマナーの啓発」(33.9%)となっています。

◆経年比較

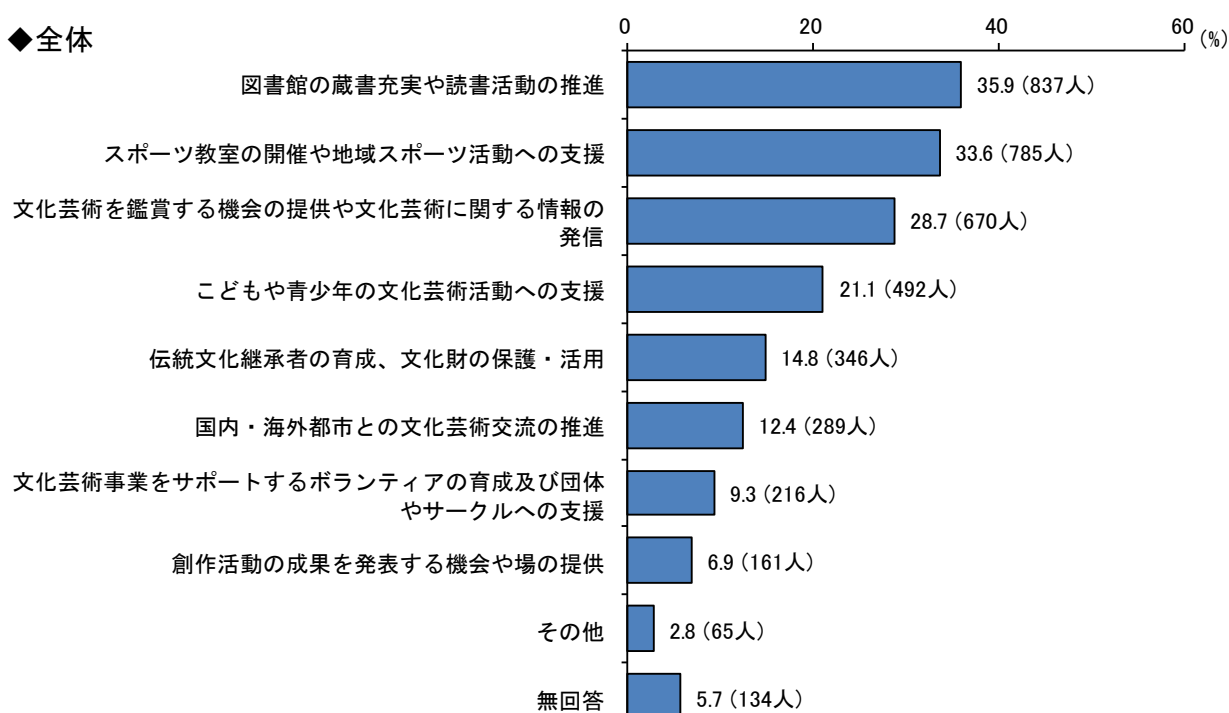
	(%)	
	平成26年度	平成23年度
調査数(n)	2,334	2,510
安全で快適な歩行者空間の確保	50.6	37.2
コミュニティバスの運行や地域に適した交通手段の拡大	42.2	36.6
自転車走行レーンの整備など、自転車施策の推進	41.2	31.7
自転車の利用に関するルールやマナーの啓発	33.9	36.4
道路や建物におけるユニバーサルデザインの推進	9.8	19.1
その他	3.0	1.9
無回答	1.9	1.8

1位 2位

「安全で快適な歩行者空間の確保」が1位、「コミュニティバスの運行や地域に適した交通手段の拡大」が2位と前回同様の順位となりました。また、「自転車走行レーンの整備など、自転車施策の推進」は今回3位(前回4位)で「自転車の利用に関するルールやマナーの啓発」が今回4位(前回3位)となっています。

⑦ 文化芸術、読書、スポーツに関する取り組みとして、
大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印は2つまで)

◆全体



「図書館の蔵書充実や読書活動の推進」(35.9%)が最も多くなり、次いで多い順に、「スポーツ教室の開催や地域スポーツ活動への支援」(33.6%)、「文化芸術を鑑賞する機会の提供や文化芸術に関する情報の発信」(28.7%)、「こどもや青少年の文化芸術活動への支援」(21.1%)の順となっています。

◆経年比較

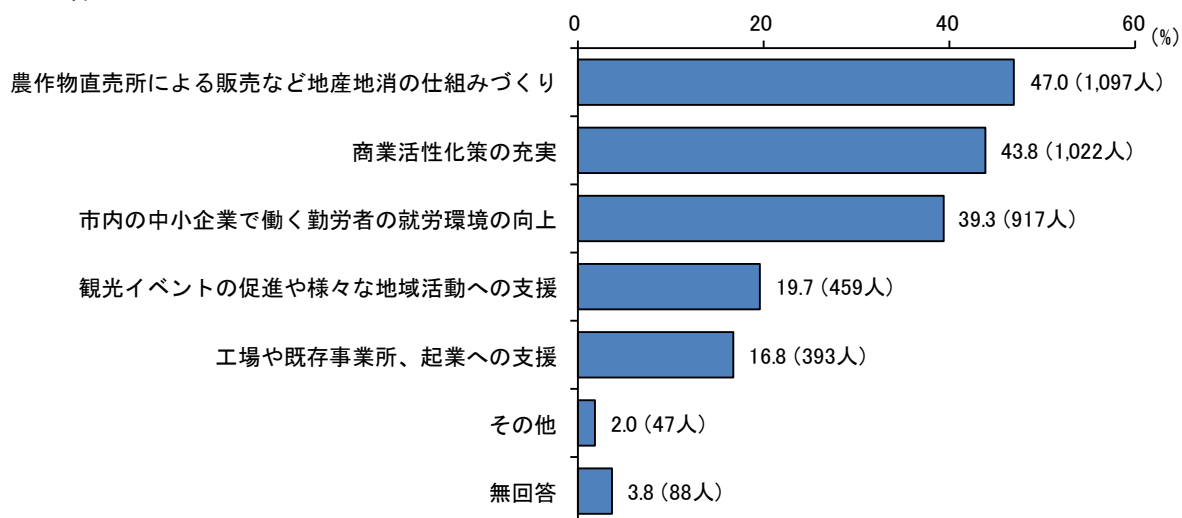
	(%)	
	平成26年度	平成23年度
調査数(n)	2,334	2,510
図書館の蔵書充実や読書活動の推進	35.9	—
スポーツ教室の開催や地域スポーツ活動への支援	33.6	—
文化芸術を鑑賞する機会の提供や文化芸術に関する情報の発信	28.7	—
(※文化芸術を鑑賞する機会や場の提供)	—	47.8
(※文化芸術に関する情報の提供)	—	19.2
こどもや青少年の文化芸術活動への支援	21.1	30.3
伝統文化継承者の育成、文化財の保護・活用	14.8	22.4
国内・海外都市との文化芸術交流の推進	12.4	12.6
文化芸術事業をサポートするボランティアの育成及び団体やサークルへの支援	9.3	—
(※文化芸術に関する団体やサークルへの支援)	—	11.5
(※文化芸術事業をサポートするボランティアの育成)	—	8.6
創作活動の成果を発表する機会や場の提供	6.9	11.4
その他	2.8	2.2
無回答	5.7	6.1

1位 2位

今回新たに加わった項目「図書館の蔵書充実や読書活動の推進」、「スポーツ教室の開催や地域スポーツ活動への支援」がそれぞれ1位、2位となりました。「文化芸術を鑑賞する機会の提供や文化芸術に関する情報の発信」は3位(前回1位)で、文化芸術に関する項目の中では最も多くなっており、前回同様の傾向となっています。

⑧ 地域経済の活性化に関する取り組みとして、
大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印は2つまで)

◆全体



「農作物直売所による販売など地産地消の仕組みづくり」(47.0%)が最も多くなっています。次いで多い順に、「商業活性化策の充実」(43.8%)、「市内の中小企業で働く勤労者の就労環境の向上」(39.3%)、「観光イベントの促進や様々な地域活動への支援」(19.7%)となっています。

◆経年比較

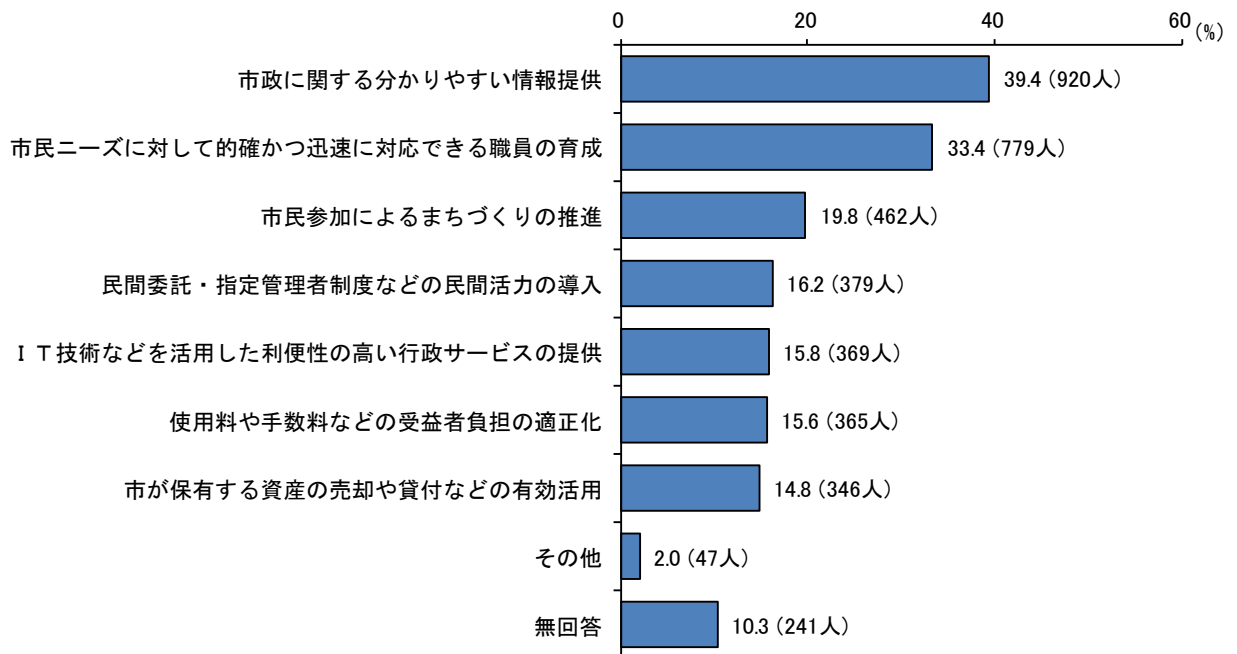
	(%)	
	平成26年度	平成23年度
調査数(n)	2,334	2,510
農作物直売所による販売など地産地消の仕組みづくり	47.0	41.8
商業活性化策の充実	43.8	46.5
市内の中小企業で働く勤労者の就労環境の向上	39.3	38.8
観光イベントの促進や様々な地域活動への支援	19.7	21.1
工場や既存事業所、起業への支援	16.8	22.2
その他	2.0	2.2
無回答	3.8	3.3

1位
2位

「農作物直売所による販売など地産地消の仕組みづくり」が今回1位(前回2位)となり、「商業活性化策の充実」が今回2位(前回1位)となりました。「市内の中小企業で働く勤労者の就労環境の向上」は前回同様3位となっています。

⑨ 行政経営に関する取り組みとして、
大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（○印は2つまで）

◆全体



「市政に関する分かりやすい情報提供」（39.4%）が最も多くなりました。次いで多い順に、「市民ニーズに対して的確かつ迅速に対応できる職員の育成」（33.4%）、「市民参加によるまちづくりの推進」（19.8%）、「民間委託・指定管理者制度などの民間活力の導入」（16.2%）となっています。

◆経年比較

	(%)	
	平成26年度	平成23年度
調査数(n)	2,334	2,510
市政に関する分かりやすい情報提供	39.4	42.9
市民ニーズに対して的確かつ迅速に対応できる職員の育成	33.4	—
市民参加によるまちづくりの推進	19.8	24.9
民間委託・指定管理者制度などの民間活力の導入	16.2	19.5
IT技術などを活用した利便性の高い行政サービスの提供	15.8	17.2
使用料や手数料などの受益者負担の適正化	15.6	18.4
市が保有する資産の売却や貸付などの有効活用	14.8	18.1
その他	2.0	2.2
無回答	10.3	8.5

1位
2位

「市政に関する分かりやすい情報提供」が前回同様に今回1位となり、今回新たに加わった項目「市民ニーズに対して的確かつ迅速に対応できる職員の育成」が2位となりました。「市民参加によるまちづくりの推進」は今回3位（前回2位）となっています。

(6) まちづくりへの自由意見・要望

回答者 2,334 人のうち 897 人からまちづくりに関する意見や要望がありました。そのうち特に多かった記載事項は次のとおりとなっています。

- ✧ 厚木基地の航空機騒音について（約 190 件）
- ✧ 道路・歩道幅の狭さや舗装の凹凸など、道路整備について（約 100 件）
- ✧ 暗い道への街灯や防犯カメラの設置など、治安向上について（約 80 件）
- ✧ 自転車利用マナーや自転車走行空間の整備について（約 70 件）
- ✧ 子育て支援について（約 60 件）
- ✧ 歩きたばこやポイ捨てについて（約 30 件）

自由記述の回答については、主な意見を基本目標ごとに分類し、次のとおり記載しています。なお、内容については意見の趣旨を損なわないよう留意しつつ、一部要約しています。

基本目標 1 一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち

◆医療体制について

- 救急車を呼んだ際、迅速に搬送先が決まり、また希望する病院に行けるよう体制を強化してほしい。
- 市立病院が救急から訪問診療まで担うとともに、他の病院との連携を進め、患者をもっとサポートするようサービス向上をはかってほしい。

◆高齢の方への支援について

- 高齢の方も経験を生かして働けるよう、就労相談の場やサポートを充実してほしい。
- 認知症や寝たきりにならないためにも、高齢の方がいつでも気軽に運動などが出来る場所や集まれる機会を増やしてほしい。
- 高齢の方の知識や経験と若い人のパワーがうまく融合できるようなシステムを考えてみてはどうか。

◆障がい者への支援について

- 障がいのある家族を、仕事をしながらでもケアできるようサポートしてほしい。また人の異動が多い介護業界であっても、長く信頼して相談できる人がいてほしい。
- 公共施設の障がい者トイレの基準の統一化を望む。また電子図書の整備、市役所及び公共施設内での視覚障がい者への誘導サービスを実施してほしい。

基本目標 2 子どもが生き生きと育つまち

◆子育て支援について

- 市内の授乳室地図や子ども連れで行きやすい店などを、子育て世代への情報提供を充実してほしい。

◆こどもの遊び場所について

- 公園でボール遊びが禁止されている所が多く、道路で遊んでいる子を見かける。子どもが安全にのびのび元気に遊べるよう公園を整備してほしい。
- コミュニティセンターなどをこどもの遊び場として充実してほしい。

◆働きながら子育てをすることについて

- 働きながら子育てができるよう、こどもを預ける場を充実し、延長保育や土日預かりなどをもっと利用しやすくしてほしい。
- 放課後こども教室は良い制度なので、今後も拡充し、長期休暇等も利用できるようになってほしい。

基本目標 3 安全と安心が感じられるまち

◆防犯について

- 学校や駅までの道のり、線路沿いなど、夜間暗いので安全性に疑問を感じる。街灯を増設してほしい。
- 犯罪が多く発生するところに防犯カメラを設置してほしい。また一般家庭に防犯カメラを導入しやすい助成を望む。
- 公園や道沿いの植え込み等を短く刈り込んでほしい。防犯対策にも有効だと思う。

◆防災について

- 防災無線が不鮮明で家で聞き取りにくい。全く聞き取れない地域もある。
- 他の自治会が災害時への対応について、どのような取り組みを行っているか知ること、自分の加入する自治会活動への参考としたい。

◆基地について

- 騒音があまりにもうるさい。特に深夜はやめてほしい。

基本目標 4 環境を守り育てるまち

◆路上喫煙やポイ捨てについて

- 路上での喫煙が禁止されているにもかかわらず、歩きたばこ、ポイ捨てが多い。公園にも吸殻が落ちている。歩きたばこ、ポイ捨て、不法投棄違反者への指導対策を強化すべき。

◆ごみ捨て場について

- 資源ゴミを停留所や市役所まで持ち運ぶのがつらいので、個別収集が実施できると大変ありがたい。

◆まちの緑について

- 街路樹等を増やすなど、市民に気持ちよい生活環境作りに努めてほしい。
- 公園等の緑地があるのは嬉しいが、場所に偏りを感じる。緑を増やして住みやすい環境を提供して欲しい。

基本目標 5 快適な都市空間が整うまち

◆道路整備について

- 凸凹な道など舗装の状態を調査し、補修してほしい。また、狭い道が多く、車いすでは通れないなど、バリアフリー対応になっていない。
- 不要な歩道橋を撤去してほしい。歩行者が見えないことがある。
- 自転車専用レーンを整備してほしいが、専用レーンを走っている際、自動車が近づいてくると危険を感じる。

◆公共交通について

- コミュニティバスの路線を多くし、本数を増やしてほしい。

◆自転車利用マナーについて

- 携帯を使ったり、イヤホンで音楽を聴きながら、また、友だちと並んで話しながら道路に広がるなど自転車マナーの悪い人が多い。指導を強化し、違反者は取り締まってほしい。
- 道路交通法が厳しくなったことを受けて、小、中学校でちゃんと自転車の乗り方、交通ルールを授業で学ばせるべきだと思う。

基本目標 6 豊かな心を育むまち

◆文化施設・活動について

- 図書館について、蔵書の充実、駅前からのアクセス向上、駅等で本を返却できるようにするなど、市民がより利用しやすい環境作りに努めてほしい。
- 大和駅にできる新しい図書館と文化ホールへの交通アクセスをよくし、市内の離れた場所からも行きやすくしてほしい。
- コミュニティセンターを気軽に利用させてほしい。制約が多く、書類も煩雑に感じる。

◆スポーツ施設・活動について

- サッカーだけでなく、他のスポーツにも力を入れて、大会などイベントを開催してほしい。

基本目標 7 市民の活力があふれるまち

◆多文化共生について

- 大和市は外国籍の方が多いので、外国語教室や料理教室など国際交流イベントに力を入れて、お互いの文化を分かりあいたい。
- 米軍住宅がある特性を活かし、こどもから大人まで英語文化を身近に体験し、大和市に住めば、世界共通語の生の英語を体得できるようにしてはどうか。

◆商業・産業について

- 計画的に都市開発し、ショッピングモールやデパート等を誘致してほしい。
- 大和市は高速・国道・電車等の便利が良いと思うので企業の誘致に有利だと思う。地域経済について施策を展開してほしい。
- 市内の未利用地を活用し、市民農園を増やしてほしい。また、地産地消で安全な農産物を供給してくれる場がほしい。

◆地域活動について

- 毎年春夏には市民まつりなどの祭りがあるが、秋や冬には目立ったイベントがないような気がして少しさみしく感じている。